

# 2023年3月期 上期決算説明資料

---

レシップホールディングス株式会社

2022年11月30日

# Agenda

01

2023年3月期 上期業績の概要

P3~P15

02

2023年3月期 通期業績予想・配当の状況

P17

03

中期経営計画「CN2023」の取組状況

P19~P24

【ご参考資料】:P26~P32

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

# 2023年3月期: 上期業績の要約

前年比

売上高 → 前年並み

損益面 ↘ 損失拡大



## 輸送機器 Transport Equipment

鉄道市場でLED灯具の売上が伸長するも、当初の想定以上に、主にバス市場における設備投資需要が回復せず、売上が伸び悩む。

減収



## 産業機器 (エネルギーマネジメントシステム) Industrial Equipment (Energy Management System)

物流市場の活況に伴うフォークリフトの需要増加により、バッテリー式フォークリフト用充電器の増加が売上を牽引。損益面では、材料価格高騰の影響を受ける。

増収

# 外部環境の影響が与えるリスクと機会

新型コロナウイルス、世界的な部材不足による調達難、資源価格高騰、インフレや急激な円安という厳しい経営環境の中でも、売上・利益が確保できるよう、営業推進と経営体質の改善に取り組む。

## リスク

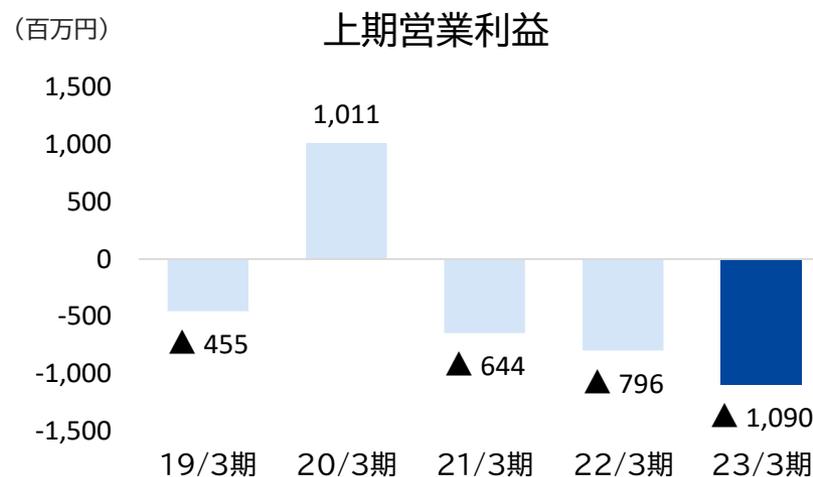
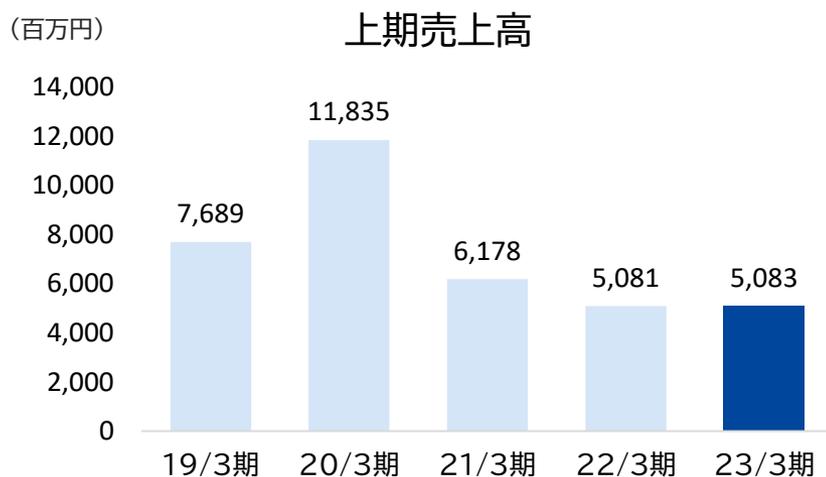
- バス・鉄道事業者様の設備投資需要が回復せず
- 半導体・部材不足に伴う取引先様の減産
- トラックの生産台数減少
- 調達部材の長納期化
- 材料価格の高騰

## 機会

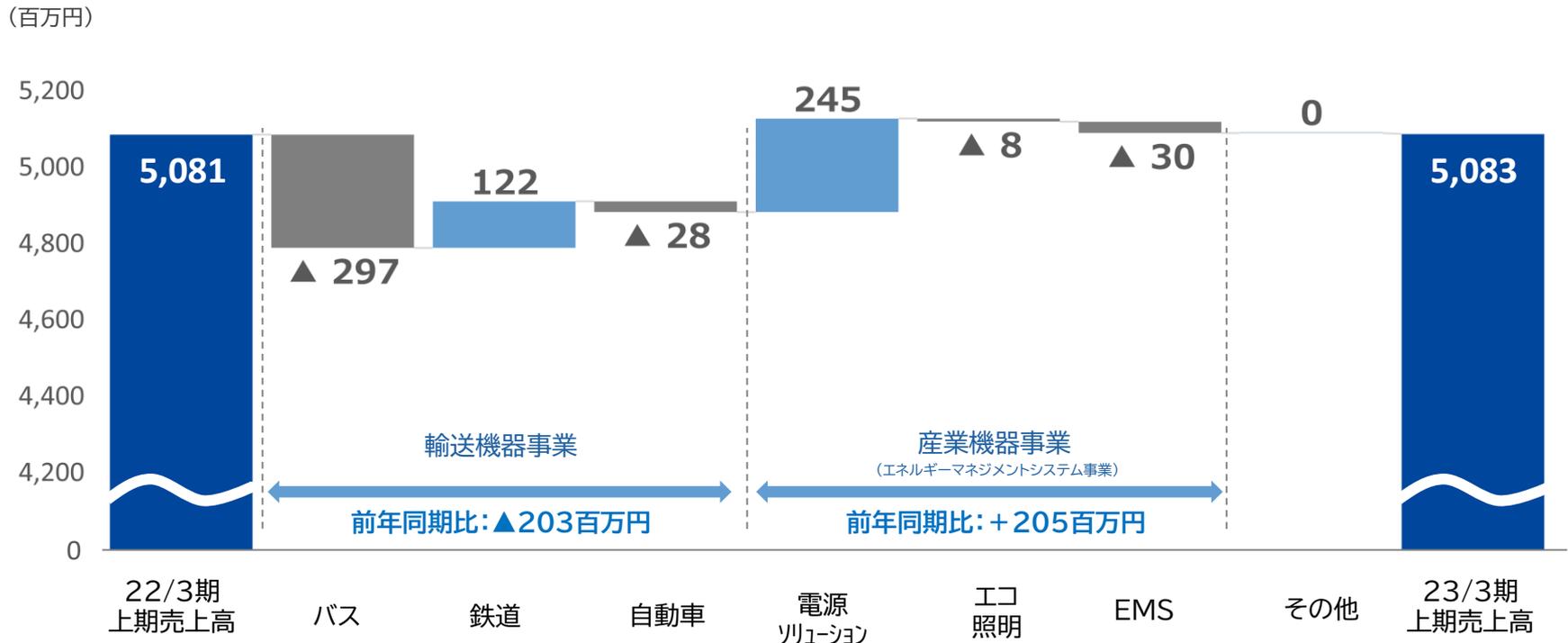
- 外国人観光客の受け入れ再開
- 物流需要の増加に伴うフォークリフト等の需要増加
- 脱炭素を意識した電動化ニーズの増加

# 2023年3月期:上期業績の要約

連結業績	2022年3月期 上期		2023年3月期 上期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,081	100.0%	<b>5,083</b>	100.0%	+1	0.0%
売上総利益	1,016	20.0%	<b>895</b>	17.6%	▲121	▲12.0%
営業利益	▲796	▲15.7%	<b>▲1,090</b>	▲21.5%	▲293	-
経常利益	▲772	▲15.2%	<b>▲774</b>	▲15.2%	▲1	-
当期純利益	▲581	▲11.4%	<b>▲494</b>	▲9.7%	+87	-



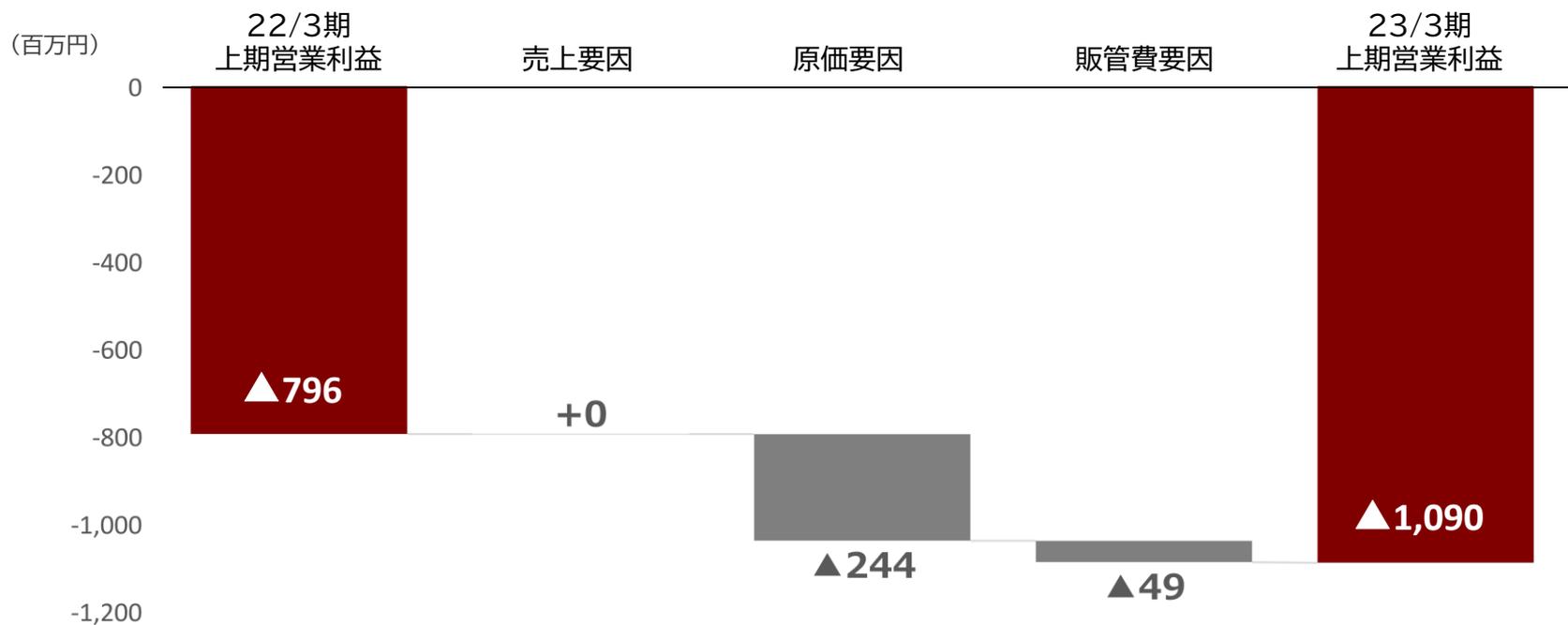
# 2023年3月期: 上期 売上高の増減要因



輸送機器事業の減少分を産業機器事業でカバー。

- バス市場では設備投資需要が回復せず、売上が伸びず。
- 鉄道市場では国内通勤車両・新幹線向け灯具、南アジア・北米向け列車用LED灯具の売上が増加。
- 電源ソリューション事業ではフォークリフト用充電器、無停電電源装置の売上が伸長。

# 2023年3月期:上期 営業利益の増減要因



- 売上要因 : 前年から売上は大きく変動せず。
- 原価要因 : 材料価格の上昇、商品構成の変化等により悪化。
- 販管費要因 : 人件費、試験研究費、事務委託費の増加。

※今年度の組織変更に伴い売上原価から販管費へ振替わった影響を除いて試算しております。

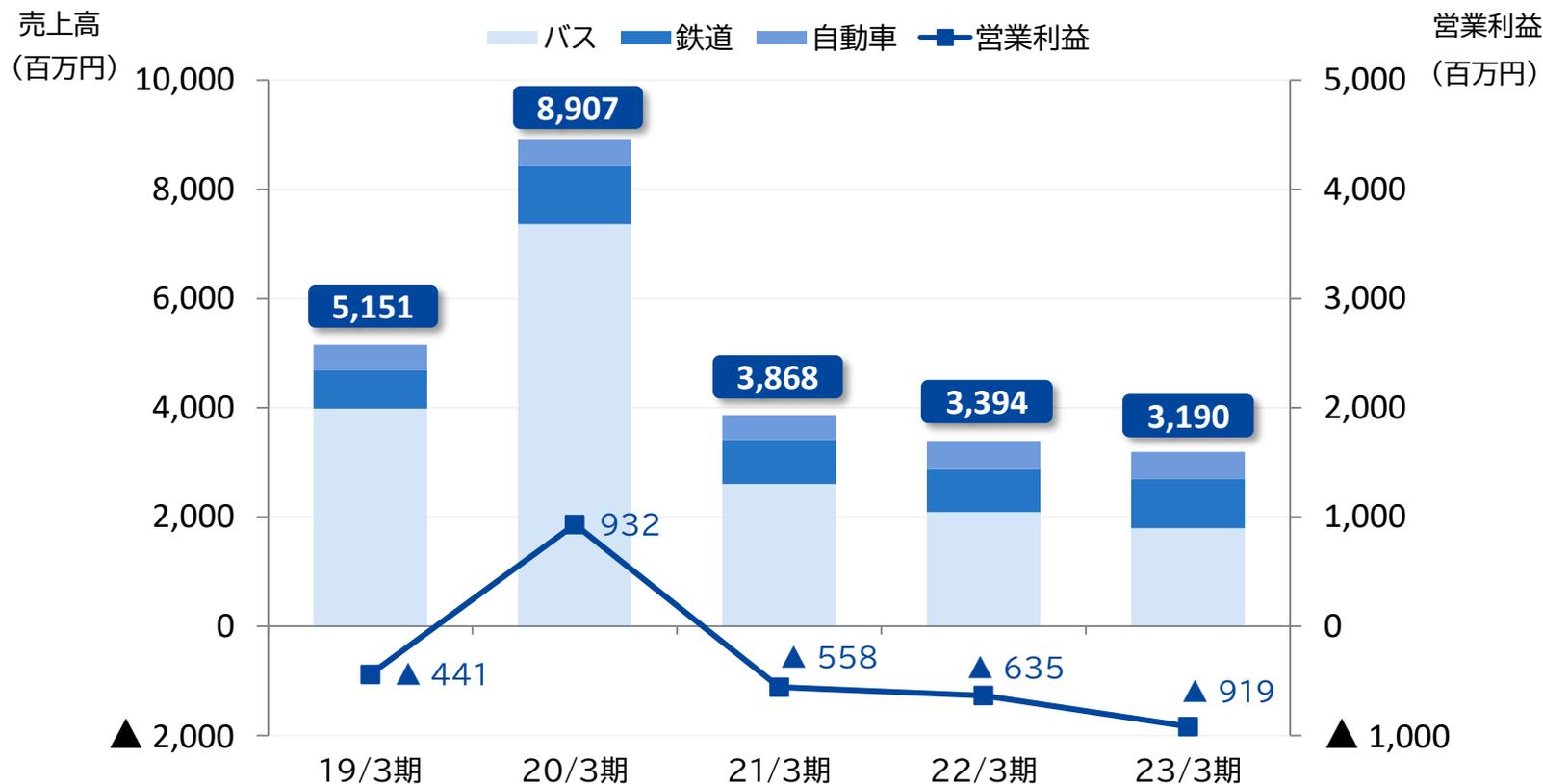
# 2023年3月期:上期セグメント別業績

売上高	2022年3月期 上期		2023年3月期 上期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
輸送機器事業	3,394	66.8%	<b>3,190</b>	62.8%	▲203	▲6.0%
産業機器事業 (エレキ <sup>®</sup> -マネジメントシステム事業)	1,668	32.8%	<b>1,874</b>	36.9%	+205	12.3%
その他事業	18	0.4%	<b>18</b>	0.4%	▲0.0	▲0.2%
連結売上高	5,081	100.0%	<b>5,083</b>	100.0%	+1	0.0%

営業利益	2022年3月期 上期		2023年3月期 上期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
輸送機器事業	▲635	82.1%	<b>▲919</b>	86.6%	▲283	-
産業機器事業 (エレキ <sup>®</sup> -マネジメントシステム事業)	▲142	18.4%	<b>▲147</b>	13.9%	▲4	-
その他事業	3.5	▲0.5%	<b>4.9</b>	▲0.5%	+1	39.8%
計	▲774	100.0%	<b>▲1,061</b>	100.0%	▲287	-
消去・全社	▲22	—	<b>▲28</b>	-	▲6.7	-
連結営業利益	▲796	—	<b>▲1,090</b>	-	▲293	-

# 輸送機器事業：上期業績

## 上期売上高・営業利益の推移



■ 売上高 :前年同期比 ▲ 2億03百万円 ▲6.0%

■ 営業利益 :前年同期比 ▲ 2億83百万円

※ 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

# 輸送機器事業：上期業績



## バス市場

**1,792** 百万円 (▲14.2%)

前年同期比：▲2億97百万円

- ◆ 首都圏向け車内液晶表示器の売上が増加。
- ◆ 前年にあった新500円硬貨発行に係る運賃箱の改造需要が剥落。
- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大の影響による業界全体の設備投資の抑制傾向が続き、運賃箱やICカードリーダーライタなどの売上が伸び悩む。



## 鉄道市場

**906** 百万円 (+15.6%)

前年同期比：+1億22百万円

- ◆ 国内では通勤車両・新幹線向け灯具を継続的に受注。
- ◆ 南アジア・北米向け列車用LED灯具も売上が増加。



## 自動車市場

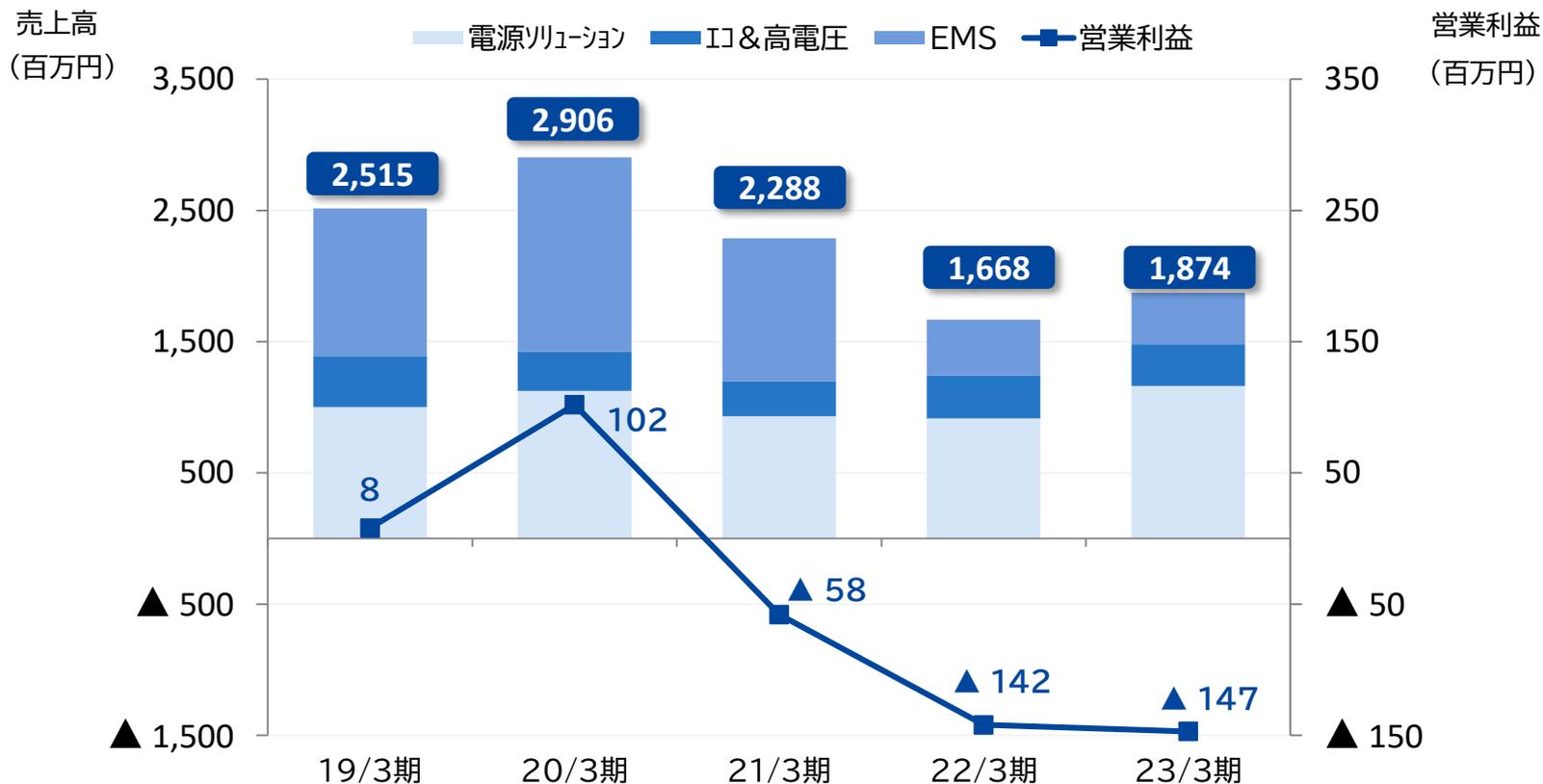
**492** 百万円 (▲5.5%)

前年同期比：▲28百万円

- ◆ トラックの生産台数が不透明な状況が続き、トラック用灯具の売上也低調に推移。

# 産業機器事業(エネルギー管理システム事業)：上期業績

## 上期売上高・営業利益の推移



■ 売上高 :前年同期比 + 2億05百万円 +12.3%

■ 営業利益:前年同期比 ▲ 4百万円

※ 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

# 産業機器事業(エネルギーマネジメントシステム事業): 上期業績



電源ソリューション市場 **1,161**百万円 (+26.8%)

前年同期比: +2億45百万円

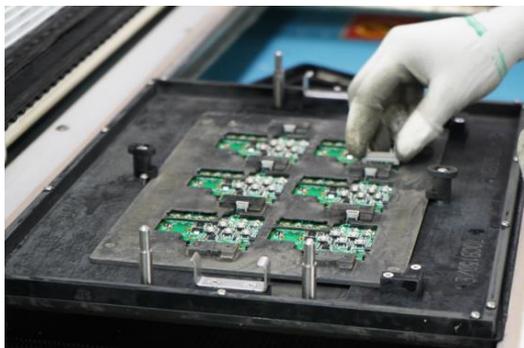
- ◆ バッテリー式フォークリフト用充電器、無停電電源装置の売上が増加。
- ◆ バッテリー式フォークリフト用充電器は底堅い需要を背景に好調に推移。  
無停電電源装置は、部材不足で生産が遅れていた前期受注分の納入が進んだ。



工照明・高電圧ソリューション市場 **317**百万円 (▲2.7%)

前年同期比: ▲8百万円

- ◆ 燃焼器具用変圧器の売上が増加したものの、LED電源などの売上が減少。



EMS市場 **395**百万円 (▲7.2%)

前年同期比: ▲30百万円

- ◆ 産業機器向け基板実装売上が減少。

# 連結損益計算書

【連結P/L】	2022年3月期 上期		2023年3月期 上期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	5,081	100.0	<b>5,083</b>	<b>100.0</b>	▲1	
売上原価	4,065	80.0	<b>4,188</b>	<b>82.4</b>	▲123	
売上総利益	1,016	20.0	<b>895</b>	<b>17.6</b>	▲121	
販売管理費	1,813	35.7	<b>1,985</b>	<b>39.1</b>	+172 ※	給料及び賞与・賞与引当金繰入・法定福利費：+79百万円 試験研究費：+20百万円 事務委託費：+20百万円 運賃：+15百万円 地代家賃：+14百万円
営業利益	▲796	▲15.7	<b>▲1,090</b>	<b>▲21.4</b>	▲293	
営業外収益	43	0.9	<b>332</b>	<b>6.5</b>	+289	為替差益：+299百万円
営業外費用	19	0.4	<b>16</b>	<b>0.3</b>	▲3	支払利息：▲2百万円
経常利益	▲772	▲15.2	<b>▲774</b>	<b>▲15.2</b>	▲1	
特別利益	-	-	-	-	-	
特別損失	8	0.2	<b>0</b>	<b>0.0</b>	▲8	減損損失：▲4百万円等
税金等調整前純利益	▲780	▲15.4	<b>▲774</b>	<b>▲15.2</b>	+6	
法人税等合計	199	▲3.9	<b>280</b>	<b>▲5.5</b>	▲81	
当期純利益	▲581	▲11.4	<b>▲494</b>	<b>▲9.7</b>	▲87	

# 連結貸借対照表

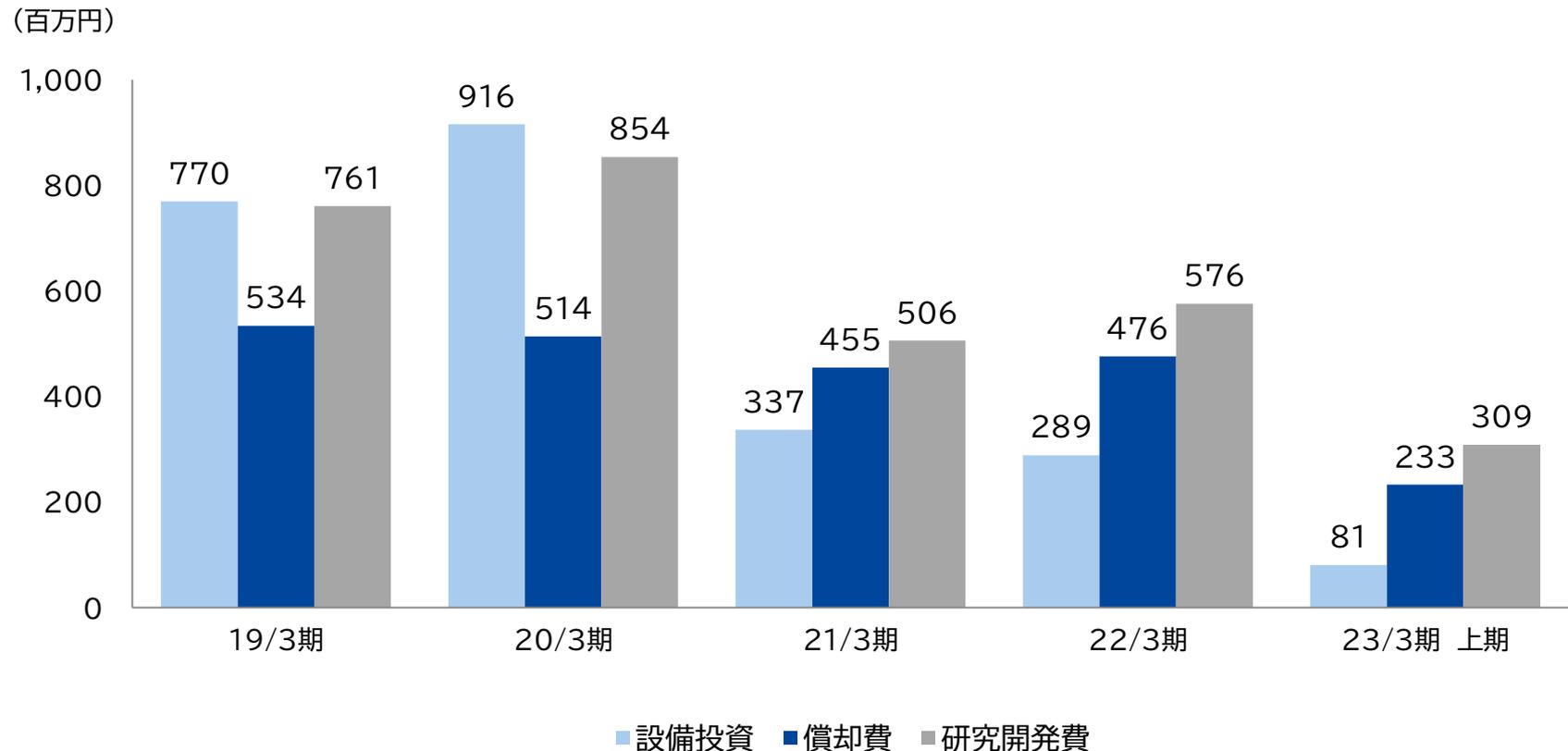
【連結B/S】	2022年3月期 期末		2023年3月期 上期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	11,282	78.1	<b>10,858</b>	<b>76.6</b>	<b>▲423</b>	現金及び預金 : ▲1,045百万円 受取手形及び売掛金 : ▲ 885百万円 商品及び製品 : + 555百万円 原材料及び貯蔵品 : + 552百万円 仕掛品 : + 268百万円
固定資産	3,167	21.9	<b>3,322</b>	<b>23.4</b>	+154	有形固定資産 : ▲ 75百万円 無形固定資産 : ▲ 74百万円 繰延税金資産(固定) : + 310百万円
資産合計	14,449	100.0	<b>14,180</b>	<b>100.0</b>	<b>▲269</b>	
流動負債	8,419	58.3	<b>9,166</b>	<b>64.</b>	+746	短期借入金 : +1,564百万円 未払消費税 : ▲ 266百万円 未払法人税等 : ▲ 251百万円 未払金 : ▲ 155百万円 1年以内返済予定の 長期借入金 : ▲ 108百万円 電子記録債務 : ▲ 81百万円
固定負債	1,255	8.7	<b>1,025</b>	<b>7.2</b>	<b>▲229</b>	長期借入金 : ▲ 155百万円 リース債務(固定) : ▲ 49百万円
負債合計	9,674	67.0	<b>10,191</b>	<b>71.9</b>	+516	
純資産合計	4,775	33.0	<b>3,989</b>	<b>28.1</b>	<b>▲785</b>	利益剰余金 : ▲562百万円 為替調整勘定 : ▲271百万円
負債・純資産合計	14,449	100.0	<b>14,180</b>	<b>100.0</b>	<b>▲269</b>	

# 研究開発費、設備投資、償却費の推移

23/3期 上期実績

■設備投資 機械及び装置、社内ITインフラ、金型、ソフトウェア 等

■研究開発費 新たなキャッシュレス決済手段への対応、デジタルサイネージシステムの開発 等



# Agenda

01

2023年3月期 上期業績の概要

P3~P15

02

2023年3月期 通期業績予想・配当の状況

P17

03

中期経営計画「CN2023」の取組状況

P19~P24

【ご参考資料】:P26~P32

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

# 2023年3月期:通期業績予想・配当の状況

- 当初予想から変更なく、売上高が185億円、営業利益4億50百万円、経常利益4億30百万円、最終利益80百万円の見通し



## 輸送機器事業

厳しい経営環境下においても、観光需要回復を見込んだ設備投資などを取り込むべく、営業推進に注力し売上確保に努める。

- ・ 首都圏以外の地域で、バス用ICカードシステムの納入を予定。
- ・ バス・鉄道業界における切迫した課題である乗務員不足などの課題解決に貢献する路線バス運行支援ユニット「LIVU(LECIP Intelligent Vehicle Unit)」やカラーLED式行先表示器などの拡販を推進。
- ・ 海外市場では、米国において、ニューヨークの地下鉄車両用灯具の本格納入を予定しているほか、カリフォルニア州のバス事業者様向け運賃箱の納入も予定。



## 産業機器事業

(エネルギー管理システム)

- ・ 物流市場の好調を背景に、バッテリー式フォークリフト用充電器やインバータ充電器(AGV向け充電器)の売上増加を見込む。
- ・ 無停電電源装置の拡販を推進。
- ・ 下期より価格改定の効果を見込む。

- 配当は安定配当の観点から配当予想5円00銭を計画

# Agenda

01

2023年3月期 上期業績の概要

P3~P15

02

2023年3月期 通期業績予想・配当の状況

P17

03

中期経営計画「CN2023」の取組状況

P19~P24

【ご参考資料】:P26~P32

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

# 中期経営計画「CN2023」について

## CN2023

Challenge to the NEXT STAGE 2023

次のステージにチャレンジ

### 重点課題

- モノ+コトへの新たな事業展開
- MaaS、スマートシティに向けた新しい価値の提供
- 海外・国内ビジネスの新たな融合と広がり
- 事業構造の転換に向けた業務プロセスの抜本的変革
- 育成分野への経営資源のスムーズな移行

### 目 標

- 売上高 200億円
- 営業利益率 5%
- ROE 8%以上



# モノ+コトへの新たな事業展開



- ▶ キャッシュレス決済運賃收受機器(LV-700)の導入を推進
- ▶ バス・鉄道車両内でのクレジットカード決済が対応可能に
- ▶ 国内観光客・インバウンドの需要が高い路線で注目が集まる
  - ✓ 当社製の既存運賃收受システムと連動できることが強み  
⇒現場の運用負担を増やすことなく、スムーズな導入が可能
  - ✓ 2022年7月、西武バス様(羽田空港線)、京浜急行バス様(羽田空港線)にて実証実験開始
  - ✓ 今後は小型化や決済方法拡充(カードブランド追加、QRコード等)の開発を進める

# MaaS、スマートシティに向けた新しい価値の提供



- ▶ JR東日本様 地域連携ICカード、JR西日本様 バスでのICOCAの導入拡大
- ▶ 全国共通IC未導入エリアへの導入を機に、バス関連製品のシェアアップを図る
  - ✓ 地域連携ICカードとは：JR東日本様が導入エリア拡大を進めるバス独自のサービスが利用できるICカード
  - ✓ 2022年上期中サービス・カード発売開始
    - Towada SkyBlue Pass(十和田観光電鉄様)
    - shoko cherica(庄内交通様)
    - yamako cherica(山交バス様)
  - 地域独自のサービス機能と全国での相互利用ができるICカードで二次交通の利便性を向上
- ✓ JR西日本様、JR西日本テクシア様がICOCA利用エリア拡大
  - バス及び地域鉄道へのICOCA導入により利便性を向上

# 海外・国内ビジネスの新たな融合と広がり

23/3期は鉄道車両用灯具の大口案件の本格納入が開始。



## ▶ 鉄道車両用灯具の受注活動を推進

- 19/3期に、NYの地下鉄車両向け照明灯具の大型案件を受注。(ベース車両535両の契約を受注済)  
一時コロナウイルスの影響等により遅延していたが、23/3期より本格納入が始まる。
- オプションが行使されれば27/3期までに最大1,612両への納入を予定。
- 海外鉄道への照明システム納入実績を評価していただき、国内の車両メーカー様からの海外鉄道案件の受注も増加。
- 国内車両メーカー様との連携を強化し、海外案件の獲得を目指す。



## ▶ バス用AFC(自動運賃收受)システム

- 2019年9月:バス事業者様の幅広いニーズに対応可能な、新型運賃箱を市場投入。
- カリフォルニア州のバス事業者様への運賃箱納入(182台)が進む。

日本国内は長期的に人口減少のトレンドの影響を受けることを見据え、海外市場でのビジネスを拡大していく。

# トピックス — 新紙幣対応の準備

2024年上半期を目途に、  
1万円、5千円、千円紙幣が新たな人物、デザインとなって発行される予定。

## ■新紙幣イメージ



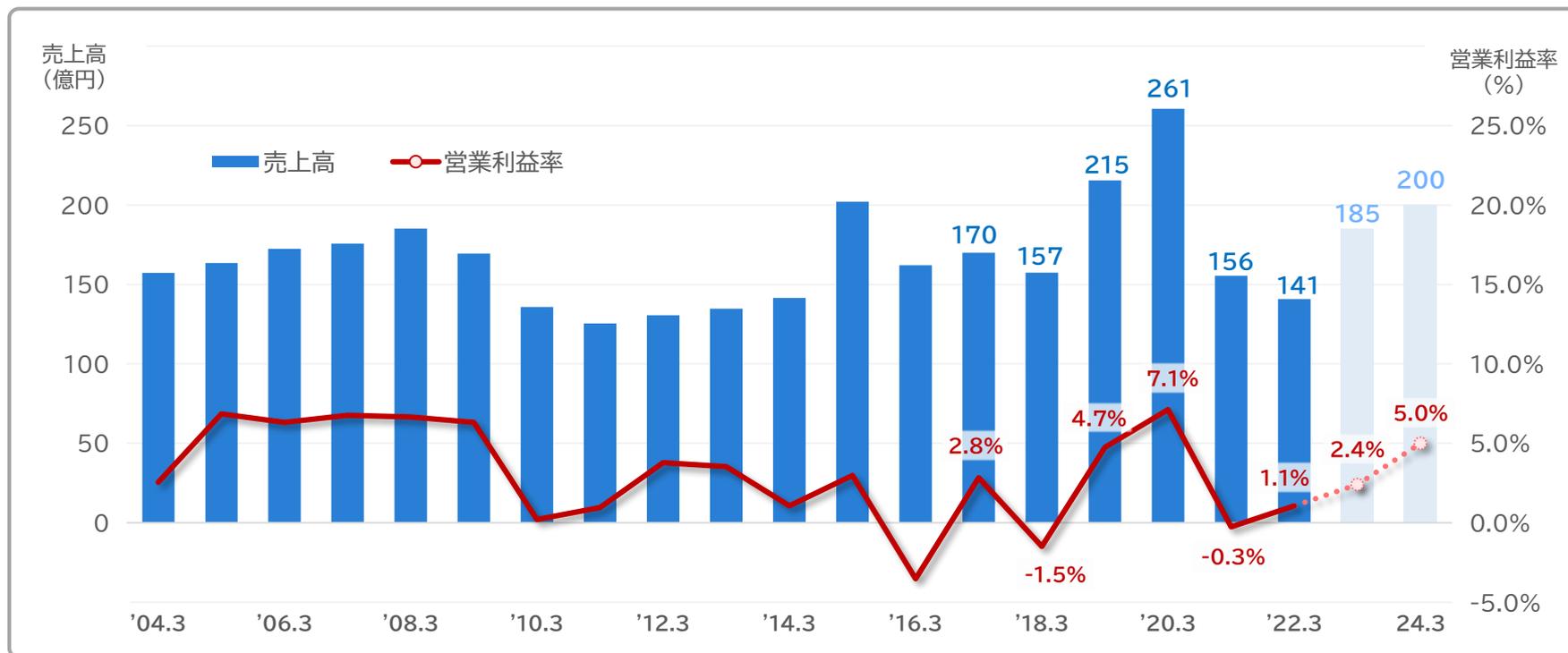
(参考)財務省:新しい日本銀行券及び五百円貨幣を発行します

[https://www.mof.go.jp/policy/currency/bill/20190409.html?scid=wi\\_mny\\_topic\\_article\\_2205\\_00004\\_43335\\_01](https://www.mof.go.jp/policy/currency/bill/20190409.html?scid=wi_mny_topic_article_2205_00004_43335_01)



- 運賃箱をはじめとした運賃收受機器において紙幣の仕様変更への対策が必要となることから、対応方法についての提案活動を推進。
- 千円札はバス車内でのICカードへの積み増しに利用されるため、バス事業者様の新紙幣対応需要の増加が予想される。
- 需要が集中することも想定されることから、供給面の対応を進める。

# プライム市場基準の充足へ向けて



GP2006

・首都圏IC導入

PG2009

- ・首都圏IC導入
- ・ピークアウト
- ・地方へのIC導入

CE2012

- ・国内シェアアップ
- ・新製品探索

+1=2015

- ・TMSの展開
- ・海外展開加速

CA2020

- ・首都圏IC更新需要
- ・次期成長ドライバーの開発
- LIVU
- LV-700
- QUICK RIDE
- 北米向け新型運賃箱

CN2023

長期ビジョン「VISION2030」  
の実現に向けて

## 【目標値】

売上高 200億円以上  
営業利益率 5%以上

- ・ キャッシュレス化への対応
- ・ 運行データソリューション
- ・ ETK「マネジ」メントシステムの強化
- ・ 地方のIC案件への対応
- ・ 海外ビジネスの強化

※ 2022年3月期より、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び  
企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

# Agenda

01

2022年3月期 通期業績の概要

P3~P15

02

2023年3月期 通期業績予想・配当の状況

P17

03

中期経営計画「CN2023」の取組状況

P19~P24

【ご参考資料】:P26~P32

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

# LECIP GROUP

レシップホールディングス株式会社

レシップ株式会社

レシップ電子株式会社

レシップエンジニアリング株式会社

LECIP INC.

LECIP (SINGAPORE) PTE LTD

LECIP THAI CO., LTD.

LECIP ARCONTIA AB



会社名

レシップホールディングス株式会社  
(LECIP HOLDINGS CORPORATION)

設立

1953年3月

代表者

代表取締役社長 杉本 眞

本社所在地

岐阜県本巣市上保1260番地の2

資本金

11億9,095万円

発行済株式総数

14,178,200株

上場証券取引所

東証プライム、名証プレミア (証券コード:7213)

連結対象会社

8社 (国内4社、海外4社)

連結従業員数

600名 (国内:560名、海外40名)

2022年3月末時点



JAPAN



USA



SINGAPORE



THAILAND



SWEDEN

# 2022年3月期 通期の事業セグメント別売上高

22/3期 連結売上高:14,075百万円

産業機器事業(エネルギーマネジメントシステム事業)

25.1%

3,536百万円

バッテリー式フォークリフト用充電器  
屋外用無停電電源装置  
LED電源  
直管型LEDランプ  
ネオン変圧器  
プリント基板実装事業

輸送機器事業

74.6%

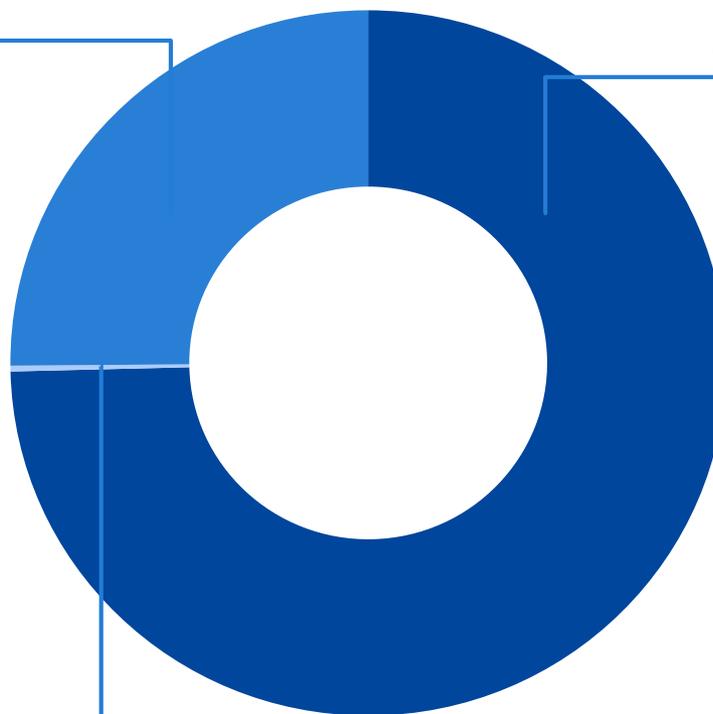
10,501百万円

バス・鉄道用運賃箱  
ICカードシステム  
OBC(液晶表示器)  
LED式行先表示機器  
車載用照明機器

その他

0.3%

37百万円



# 主な経営指標の推移

(単位:百万円)

主な経営成績 指標の推移	2004/3期	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期
売上高	15,717	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480
営業利益	400	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	493	477
営業利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.7)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)
経常利益	390	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	514	526
経常利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.5)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)
当期純利益	▲100	654	622	668	686	521	41	46	132	292
当期純利益率 (%)	(▲0.6)	(4.0)	(3.6)	(3.8)	(3.7)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)
総資産	10,267	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791
純資産	1,888	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755
自己資本比率 (%)	(18.4)	(23.9)	(37.1)	(38.2)	(43.5)	(51.2)	(50.3)	(54.4)	(51.3)	(48.6)
EPS(円)	▲9.02	53.85	48.14	52.34	53.69	40.80	3.27	3.67	10.40	23.43
ROE (%)	—	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8
BPS(円)	169.18	220.83	299.82	344.91	390.83	417.74	413.82	412.80	415.38	438.69

※2014年4月を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

株式分割前のEPS、BPSにつきましても、株式分割後の株数の基準でもって、算定し直し、現在と同じ基準で表示を行っております。

# 主な経営指標の推移

(単位:百万円)

主な経営成績 指標の推移	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期 (予想)
売上高	14,157	20,215	16,203	16,985	15,749	21,538	26,051	15,553	14,075	18,500
営業利益	151	603	▲571	483	▲235	1,021	1,854	▲40	149	450
営業利益率 (%)	(1.1)	(3.0)	(▲3.5)	(2.8)	(▲1.5)	(4.7)	(7.1)	(▲0.3)	(1.1)	(2.4)
経常利益	164	779	▲649	354	▲248	1,030	1,830	35	325	430
経常利益率 (%)	(1.2)	(3.9)	(▲4.0)	(2.1)	(▲1.6)	(4.8)	(7.0)	(0.2)	(2.3)	(2.3)
当期純利益	▲98	227	▲1,378	50	▲454	438	891	▲124	53	80
当期純利益率 (%)	(▲0.7)	(1.1)	(▲8.5)	(0.3)	(▲2.9)	(2.0)	(3.4)	(▲0.8)	(0.4)	(0.4)
総資産	12,677	14,431	13,173	13,048	12,465	16,445	14,791	15,129	14,449	—
純資産	4,614	4,637	3,277	3,499	2,985	3,427	5,078	4,912	4,775	—
自己資本比率 (%)	(36.4)	(32.1)	(24.9)	(26.8)	(24.0)	(20.8)	(34.3)	(32.5)	(33.0)	—
EPS(円)	▲9.05	20.76	▲125.25	4.59	▲40.91	38.75	74.39	▲9.77	4.16	6.22
ROE (%)	▲2.1	4.9	▲34.8	1.5	▲14.0	13.7	21.0	▲2.5	1.1	—
BPS(円)	422.21	422.30	297.03	315.51	267.56	301.92	398.64	385.17	371.56	—

※ 2020年3月期に、新株発行(138万株)増資を行っております。

※ 2022年3月期より、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び  
企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

# 年間業績の推移

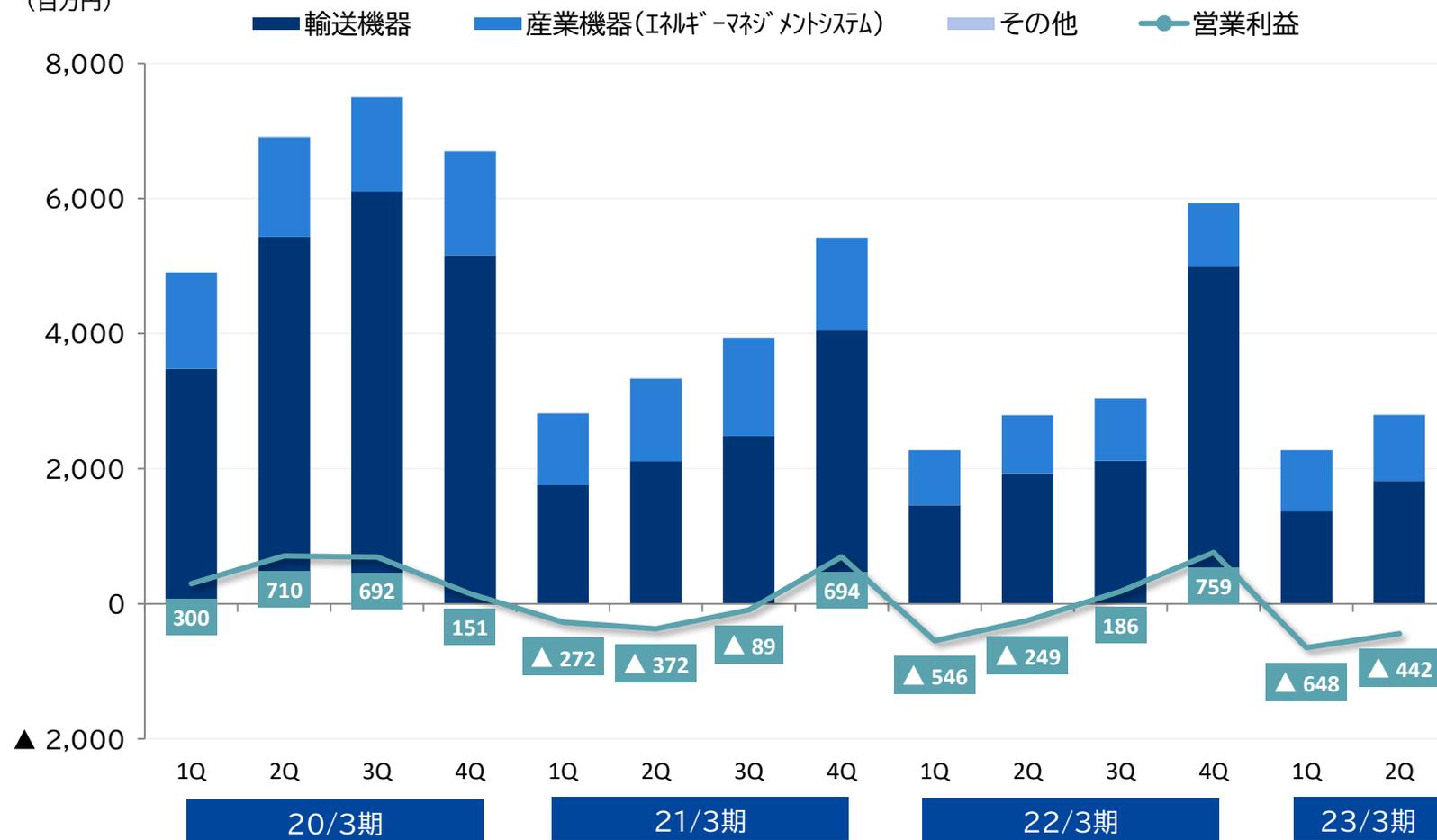
(単位:百万円)

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
売上高	15,749	21,538	26,051	15,553	14,075
営業利益	▲235	1,021	1,854	▲40	149



# 四半期業績の推移

売上高・営業利益  
(百万円)



# 四半期業績の推移

(単位:百万円)

売上高	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
輸送機器	3,476	5,431	6,104	5,159	1,757	2,110	2,482	4,042	1,458	1,935	2,113	4,993	1,369	1,821		
産業機器 (エネルギー・マネジメントシステム)	1,427	1,478	1,394	1,536	1,062	1,225	1,454	1,376	812	856	929	938	901	973		
その他	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9		
<b>売上高合計</b>	<b>4,914</b>	<b>6,920</b>	<b>7,509</b>	<b>6,706</b>	<b>2,831</b>	<b>3,347</b>	<b>3,947</b>	<b>5,427</b>	<b>2,279</b>	<b>2,801</b>	<b>3,052</b>	<b>5,941</b>	<b>2,279</b>	<b>2,803</b>		

営業利益	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
輸送機器	268	664	709	175	▲215	▲343	▲116	693	▲466	▲168	169	846	▲542	▲377		
産業機器 (エネルギー・マネジメントシステム)	44	57	▲4	▲13	▲42	▲16	34	10	▲64	▲77	31	▲62	▲93	▲54		
その他	1	1	0	▲1	1	2	2	1	1	2	1	1	2	2		
全社・消去	▲14	▲13	▲12	▲9	▲16	▲14	▲10	▲11	▲16	▲5	▲15	▲25	▲14	▲14		
<b>営業利益合計</b>	<b>300</b>	<b>710</b>	<b>692</b>	<b>151</b>	<b>▲272</b>	<b>▲372</b>	<b>▲89</b>	<b>694</b>	<b>▲546</b>	<b>▲249</b>	<b>186</b>	<b>759</b>	<b>▲648</b>	<b>▲442</b>		

# LECIP GROUP

## レシップホールディングス株式会社

---

【資料お問合せ先】 管理本部 経営管理部 電話番号 : (058)324-3121

---

### 将来予測について

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。